

人生の処方せん

処方せんとは、マニュアルのことである。
果たして私たちの人生に、生きるマニュアルというものは、あるのだろうか

バカの壁 --- 養老 孟司 氏



科学的に考えるためには、一つの視点にこだわってはダメ、
常に複数の視点を持たなくてはならない
全体の状況を判断して、適切な行動をする教育を受けてきていない
学生は二重構造をもっている / 本音とたてまえ
自分の日常と重ね併せて、応用して聞くことができるか

原理主義は学問の敵

壁をつくって、そこから外を見ない / 中で出来上がってくる、非常に固いもの
子どもを徹底的に保護している / 結果、子どもが全く育たない

<神との対話>

人間というものは、子供の時代を退屈に感じ、早く大人になりたいと思う。
そして大人になったら、今度は子供に戻りたいと願う。
人間たちは、金を儲けるために自らの健康を失い、失った健康を取り戻すために金を使う。人間たちは、
将来を考えすぎるが故に、現在を忘れている。人間たちは、現在にも将来にも、
どちらにも生きてはいないのである。

人間たちはまるで、自分たちは決して死なないかのように生きている。そして
あたかも、決して生きたことがなかったかのように死んで行く。



生命科学者・柳澤桂子氏 ~ 自然の掟を超える~

共時的偶然の中に必然を見る
大いなる生命場につながる自分の存在をみる
“俺がやった” vs. “誰かに助けていただいた”
自分が自立する — 自分で自分の靴ひもを結ぶ
人の自立を支援する — 支援を必要としている人の靴ひもを結ぶ
お互いの自立を尊重し共に出發して行く—適度の距離を保ち、お互いをまなざす
生きること、成長することが仕事 人とつながって行くことが仕事

この仕事には定年はありません

事例

マニュアル人間/NHK「きわめびと」より
AIに聞いてみた/健康になりたいければ、病院を減らせ
手を貸さない母親/映画「Ray」より
養老孟司氏/バカの壁より/原理主義は学問の敵
神との対話/人間は将来を考えすぎるが故に、現在を忘れている
生命科学者・柳澤桂子/NHK「人間ドキュメント」より

永田円了のホームページ：www.enryo.jp

